

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 3 4 5	地域との連携は昨年より取り組んでいるがまだご利用者と地域、事業所から地域の貢献というところがなされていない。働きかけを今後も継続していく。	1.介護予防として定例化している臨床美術を地域へ浸透していく。 2. 町内の清掃活動に参加する。 3.園庭を幅広く利用して頂けるようイベントの開催や園芸療法をすすめご利用者との交流の場をつくる。	①町内のわいわい広場の参加継続 ②毎月、開催している臨床美術を町内の方にも参加頂けるよう広報活動を行う ③町内清掃活動の参加 ④園庭の解放、イベントの開催を2回は行う ⑤地域保育園との交流継続 ⑥災害時の協力体制の明確化	12ヶ月
2	25 26 27 28 29 30	昨年取り入れたセンター方式が進行途中であり今後改良をすすめながらご利用者の生活の質の向上に沿う介護計画作成ができる。	1.介護スタッフがセンター方式を理解できる 2.担当者がアセスメント・モニタリングができるようになる 3.ご利用者、ご家族の思いが反映された介護計画ができる 4.ご利用者目線、ご利用者本位が反映された介護支援ができる	①センター方式のシートが活用できるように勉強会や個別指導を行う ②アセスメントシートの記録できるようにケアマネと一緒に作成に関わる ③モニタリングシートの記入を担当者がおこなう ④担当者会議で計画内容について各担当が説明する。 ⑤情報の共有をおこなう	12ヶ月
3	6 7 8 13 14 15	研修などへの参加は極力行っているが研修報告・勉強会だけでなく他に園内研修を設けさらに職員のスキルを高めていく。	1.研修報告で多くの情報を伝える事ができる 2.疑問に思うこと分からないことが整理でき、伝えられる。 3.園内で不足しているものに気づく。 4.勉強会・園内研修で学んだことを支援に活かせる。	①毎月1回勉強会・園内研修を開く ②自分が学びたい事が積極的に伝える事ができる ③研修報告書に自分なりの資料が作成、添付する	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。